

村上市火葬場整備に向けたサウンディング型市場調査実施 結果概要について（公表）

1. サウンディング型市場調査実施の経緯

村上市では、市内3火葬場（村上火葬場無相院、荒川火葬場普照園、山北火葬場）が、供用開始から約30～45年経過しており、それぞれの施設及び火葬炉設備の老朽化が進んでいるため、令和6年4月に「村上市火葬場整備基本構想」を策定し、新たな火葬場を整備することとしております。

そこで、この基本構想に対する意見・アイデア、事業手法等について、自由かつ実現可能な利活用アイデアを広くお聞きする「サウンディング型市場調査（事業発案・構想検討）」を実施しました。

2. 事業概要

- ① 既存3火葬場を集約し、1箇所に建設するもので、火葬炉は4炉とします。
- ② 建設予定地は、村上火葬場無相院の隣接地とし、建設期間中は、村上火葬場無相院が、通常稼働できることとします。
- ③ 建築面積：2,267 m²以内とし、地上2階建て以内とします。（駐車場は700 m²程度）
- ④ 再生可能エネルギー及びZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の導入を検討します。

3. サウンディング型市場調査実施概要

① 現地見学会

実施日程：令和6年10月16日（水）

参加者数：5社

② 個別対話

実施日程：令和6年10月30日（水）から11月7日（木）

実施時間：1社あたり60分程度

対話会場：村上市役所

参考者数：4社

4. 実施経過

日 程	内 容
9月10日（火）	実施要領の公表（HP）
9月13日（金）から10月8日（火）	現地見学会の受付
10月16日（水）	現地見学会の実施

10月16日（水）から10月22日（火）	個別対話参加の受付
10月30日（水）から11月7日（木）	個別対話の実施
12月20日（金）	実施結果概要の公表

5. 実施結果概要

項目ごとに対話を行い、下記のとおり意見・提案をいただきました。

① 本事業への参加意欲

- ・ 積極的に参加したいとの意見を複数いただきました。
- ・ 設計、施工業者の条件等を早めに提示してもらいたいとの意見をいただきました。

② 事業プラン、工期（整備スケジュール）

- ・ PFI、DBO 方式による整備の方が、従来方式の設計、施工よりは、工期を短縮できるとの提案がありました。
- ・ 建設工期については、以前より工事日数を要するようになっているという意見をいただきました。
- ・ 造成工事も合わせて発注した方が、工期短縮となるとの提案をいただきました。
- ・ 他自治体では、火葬炉を決めてから設計・施工を発注しているケースもあるとの意見がありました。
- ・ DBO 方式によるコスト削減効果の提案がありました。
- ・ DBO 方式であれば、事業期間を 20 年とする提案がありました。
- ・ 火葬炉の維持管理について提案がありました。
- ・ 施設運用管理については、お客様対応と火葬炉の管理を分けて発注している自治体もあるとの意見がありました。

※PFI:行政と民間が連携して公共施設等の建設、維持管理、運営等を行うことにより、民間の創意工夫等を活用し、財政資金の効率的使用や行政の効率化等を図る方式のこと

※DBO:自治体等が資金調達し、民間事業者に施設の設計・建設・運営を一体的に委託して実施する方式のこと

③ 官民連携の導入

- ・ DBO 方式による運営について提案がありました。
- ・ DBO であれば、SPC を設立しない方法で運用している例もあるとの意見がありました。
- ・ PFI 方式による SPC の資金調達に関する意見がありました。

- ・ SPC 構成企業についての意見がありました。
※SPC:特定の目的のために設立される法人で、親会社から必要な資産を切り離し、特定の事業のために資金調達、運用を行うこと

④ その他（施工実績、市内企業との連携等）

- ・ 県内外での施工実績、PFI、DBO 方式による実績についての意見が複数ありました。
- ・ 県内火葬場での PFI、DBO 方式による運営例について意見がありました。
- ・ 市内企業との連携について提案がありました。
- ・ 地元雇用についての提案がありました。